年間授業計画　新様式例

高等学校 令和5年度（１学年用） 教科　地理歴史　科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（ 高等学校　新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）　）

教科　地理歴史　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　日本や世界の地域的特色や歴史の展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力

【思考力、判断力、表現力等】　事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力

【学びに向かう力、人間性等】　持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
地理的事象に関して、GISや統計資料を読み取ったり、調査内容などを適切かつ効果的にまとめている。	位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存作用、地域などのに着目して、地理的な課題に向けて、構想したり、考察したりしている。	持続可能な社会に向けて、授業や社会に関わり、主体的に探究し、グループ内で合意形成をしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元「地図と地図情報システム」 【知識及び技能】 紙の地図を読図したり、レイヤーなどのを駆使したGISの概念を理解する。GISなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図情報や統計資料を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現する。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的課題に対して、多面的・多角的に考察し、議論する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図表現の違いや身近なWebGISなどについて自ら操作し探究的に学ぼうとする態度を養う。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的な課題に関して主体的かつ対話的に学びを深め、合意形成に至る。	【指導内容】 1）地球上の位置と時差 2）地図の役割と種類 3）国家と領域 4）グローバル化する世界 【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 地図操作や概念に関するコンテンツ ・地理院地図　・Google Earth 地図作成に関するコンテンツ ・地理院地図 課題の提出や討論に関するツール ・Forms（Office 365） 以上のコンテンツを、生徒が日々の授業に対して振り返りや発展的で探究的な学びを支援できるものとして活用する。	【知識・技能】 紙の地図を読図したり、レイヤーなどのを駆使したGISの概念を理解している。GISなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付いている。 【思考・判断・表現】 地図情報や統計資料を用いた効果的な伝え方について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的課題に対して、多面的・多角的に考察し、議論することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図表現の違いや身近なWebGISなどについて自ら操作し探究的に学ぼうとする態度がある。グローバル化にともなう移民や経済などの現代的な課題に関して主体的かつ対話的に学びを深め、合意を形成することができる。	○	○	○	20
	【定期考査】		【知識・技能】	○	○		1
	【定期考査】 第1部　地図でとらえる現代世界に関するテストとし基本的な知識・技能と論理的かつ効果的に作図を行う思考力や表現力を図る。		【知識・技能】 授業中に取り扱った基本的な知識・技能について理解している。 【思考・判断・表現】 発展的で思考力を問う問題に対しても、統計資料や地図から適切に判断し表現できている。	○	○		1
	単元「生活文化の多様性と国際理解」 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりしていることに加え、そういった文化には共通性や地域性があることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の生活文化について、地理的環境（自然環境、宗教、歴史、産業）の観点からその成り立ちや共通性、地域性について考察することができる。生活文化を構成する要素が多様な観点から成り立つことをコンセプトマップなどで表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、持続可能な社会（多様な社会の形	【指導内容】 1）自然環境と生活文化 2）宗教と生活文化 3）歴史と生活文化 4）産業と生活文化 【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 教材として使用するコンテンツ ・地理院地図　・Google Earth 課題の提出や討論に関するツール ・Forms（Office 365） 図書館にある資料やインターネッ	【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりしていることに加え、そういった文化には共通性や地域性があることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の生活文化について、地理的環境（自然環境、宗教、歴史、産業）の観点からその成り立ちや共通性、地域性について考察している。生活文化を構成する要素が多様な観点から成り立つことをコンセプトマップなどで表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、持続可能な社会（多様な社会の形成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究している。	○	○	○	13

	成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。	ト上のデータを生徒が主体的に活用する場面を設ける。					
	【定期考査】 自然環境、宗教、歴史、産業に関する世界遺産を取り上げ、時間内になぜその世界遺産が普遍的価値を持つのかレポートを作成する。	【デジタル端末の活用と教材の関係】タブレットを活用した課題とする。	【思考力、判断力、表現力等】 取り上げた世界遺産がなぜ普遍的（共通性だけでなく地域的特殊性）価値を持つのか考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを踏まえて、発展的な理解へと考えを深めようとしている。		○	○	1
2学期	単元「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、課題の概要や複雑性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、地域の結び付きや問題相互の関連性を考察し、その課題解決に向けた複雑性をコンセプトマップなどで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、持続可能な社会（多様な社会の形成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究する態度を養う。	【指導内容】 1）環境問題と経済 ～オーバーツーリズムの事例～ 2）人口問題と都市・居住問題 ～ファベーラと日本の事例～ 3）エネルギーと経済 ～ロシアの天然ガスを事例～ 【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 教材として使用するコンテンツ ・地理院地図　・Google Earth 課題の提出や討論に関するツール ・Forms（Office 365） ・ロイロノート ロイロノート上にあるシンキングツールやロイロノートの特性を活かして、課題の相互関係についてコンセプトマップでまとめたり、発表したりする時間を設ける。	【知識及び技能】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、課題の概要や複雑性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、地域の結び付きや問題相互の関連性を考察し、その課題解決に向けた複雑性をコンセプトマップなどで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地で見られる地球的課題（環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題および居住・都市問題）について、持続可能な社会（多様な社会の形成を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、追究している。	○	○	○	16
	【定期考査】 第２部　国際理解と国際協力に関するテストとし基本的な知識・技能と論理的かつ効果的に作図を行う思考力や表現力を図る。		【知識・技能】 授業中に取り扱った基本的な知識・技能について理解している。 【思考・判断・表現】 発展的で思考力を問う問題に対しても、統計資料や地図から適切に判断し表現できている。	○	○		1
3学期	単元「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】 日本での地震や津波、風水害について世界の状況を踏まえたグローバルな視点や身近な地域などのローカルの視点から理解する。特に、ローカルな視点については、ハザードマップなどを読図する。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件とのかかわりから考察する。また、今後の地域のあり方について伝えたり、表現したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な地域の課題や展望について、持続可能な社会（防災の視点を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、地域のあり方について合意形成に至る。	【指導内容】 1）地震被害の概要 2）気象災害と自然災害 3）清瀬市の防災と持続可能な地域 【デジタル端末の活用と教材の関係】 教科書や資料集などの活用に加えて、以下のコンテンツを活用する。 地図操作や概念に関するコンテンツ ・地理院地図　・Google Earth 地図作成に関するコンテンツ ・地理院地図 課題の提出や討論に関するツール ・Forms（Office 365） 以上のコンテンツを、生徒が日々の授業に対して振り返りや発展的で探究的な学びを支援できるものとして活用する。	単元「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】 日本での地震や津波、風水害について世界の状況を踏まえたグローバルな視点や身近な地域などのローカルの視点から理解している。特に、ローカルな視点については、ハザードマップなどを読図している。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件とのかかわりから考察する。また、今後の地域のあり方について伝えたり、表現したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な地域の課題や展望について、持続可能な社会（防災の視点を含む）を目指して、主体的かつ対話的に学びを深め、地域のあり方について合意形成できる。				17
	【定期考査】 第３部　持続可能な地域づくりに関するテストとし基本的な知識・技能と論理的かつ効果的に作図を行う思考力や表現力を図る。		【知識・技能】 授業中に取り扱った基本的な知識・技能について理解している。 【思考・判断・表現】 発展的で思考力を問う問題に対しても、統計資料や地図から適切に判断し表現できている。	○	○		1
							合計 71